

五十嵐ゆうこの米国小売業最新レポート

2020年10月02日

Amazon Fresh!!

米国ではオンライン小売業者の最大手 Amazon が食品小売業へ参入し始め、Walmart を始めとする競合企業の存在を脅かしています。

ロスアンゼルス中心地から 40 キロ離れた郊外に Amazon 独自で開業したリアルなスーパーマーケット Amazon Fresh が、9月17日に一般オープンを皮切りに本拠地シアトルと首都ワシントン DC の郊外にも Amazon Fresh の実店舗をオープンする計画が浮上しており、それぞれの出店場所はシアトルのベルビュー市の Safeway があった場所とワシントン DC はゲイザーバーグ市の文具とオフィス用品ディスカウントチェーン Office Depot の跡地のようです。(3,100平方フィート約 860 坪)

首都 DC 周辺ではレジ無しのコンビニエンス・ストア Amazon Go やその Amazon Go の 3 倍の規模である約 288 坪の面積で、Whole Foods 商品を含む 5000 アイテムを取り扱う小型グロサリー店 Amazon Go Grocery のオープン計画もしており、特に Amazon Go Grocery は少なくとも 2 か所はオープン予定で、雇用の募集も始めております。

またバージニア州フェアファックス郡のマンチェスターレイク市とチェビーチェイス市でも "Mendel's" という名前で土地の買収がされ、その 2 か所とも Amazon Fresh と同様の規模である 900 坪前後であることから Amazon が食料品店をオープンするであろう という情報が業界の間で流れています。

以前 Whole Foods が新しいコンセプトを掲げ、プライベートブランドを中心とし、既存店よりも全体的に価格を押し下げて打ち出した 365 by Whole Foods の展開を一昨年前に中止しました。

その 365 by Whole Foods の出店予定地だった DC の場所にも Amazon Fresh がオープンする可能性が高いと言われてしています。

私は今週ようやく 9月17日に一般オープンした Amazon Fresh へショッピングに行く事が叶いました。

ロスアンゼルス在住の小売業専門コーディネーターの方々より既に沢山のレポートが報告され、日本の皆様も沢山の情報を入手されているかと思えます。



毎日ブログを更新されているコーディネーターの方は、連続7日で記載しているため情報が重複する箇所もあるかもしれませんが、五十嵐ゆうこ流で2度に分けてレポートさせていただきます。

Amazon Fresh のカリフォルニア一号店のショッピングの流れについて順を追って記載します。

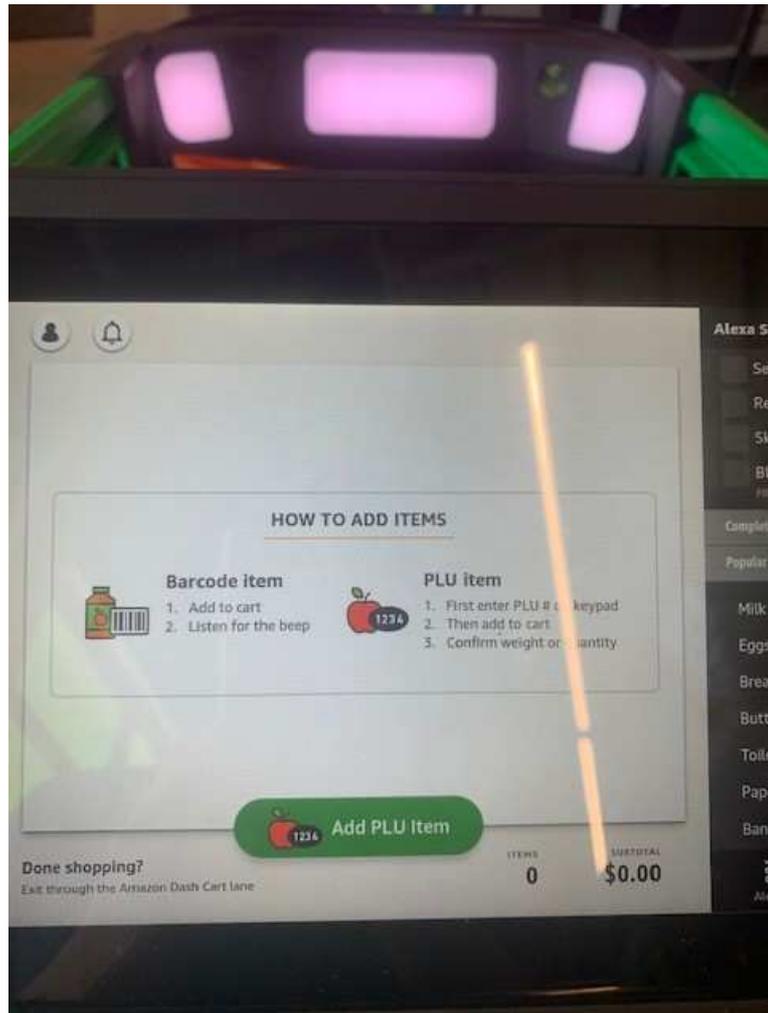
- ① 目玉であるテクノロジーを駆使した商品の読み込み&会計完了システムで、キャッシャーレスを実現した最先端のショッピングカート **Dash Cart** を利用する際 Amazon のアプリを開き、Fresh in-Store をクリックすると QR コードが出てきます。そのコードを Dash Cart に読み込ませればショッピング開始となりますが、人気が高くほとんどの **Dash Cart** が利用され、使用できる Cart は1台もありませんでした。



- ② スタッフに5分～10分程待つか、普通のショッピングカートを利用しレジに並べばすぐ買い物が出来ますよ。と案内され、10分ほど待っていると Dash Cart 専用 Lane に戻ってきた一台を消毒し、Parking lane に戻って来ました。Dash Cart をスタッフが手渡してくれる前にオレンジ色のエコバックを2枚設置してくれます。現在のところ Dash Cart 使用者に無料でショッピング終了後にプレゼントされます



- ③ 早速 QR コードを読み込ませると前面の画面に使用方法が現れます。そしてスタッフも口頭で丁寧に説明してくれます。基本的には商品を棚からとり Cart に入れる際、白い光センサーが自動的に商品バーコードを読み込んでリストに加算していきます。読み取れない場合は、赤いライトが点滅しビープ音が鳴るので入れ直しとなります。バラ売りになっている農産物は PLU という価格紐づけのあるコードを Cart に設置された画面のキーボードで打ち込み、商品をそのまま Cart へ入れると画面に商品の重量や数量が出てきます。例えばバナナ 2 本で 1lb = (1 lb は約 450 グラム) と表示され、確認後”Confirm”を押します。この流れをスタッフが口頭でも説明してくれます。



- ④ いよいよショッピング開始です。QR コードの真上に幾つかアイコンがあり割引クーポンは Deals、肉や総菜などの事前注文は Order Ahead、買い物リストは Alexa List をクリックすると利用可能となります。
- お店の至る所に手をかざすだけで除菌ができるハンドサニタイザーの設置があり、直接商品を手にとった後に菌の付着が気になる方には安心です。途中で見つからない商品やその他の質問は Alexa に話しかけると教えてくれます。例えば、チーズにあうワインのペアリングや重量を調理用カップへの置き換え 等もアドバイスしてくれます。アーモンドミルクを欲しかったので尋ねたら売り場を教えてくれたのですが、ソフトコンタクトレンズの洗浄液について尋ねたら洗浄液についての説明を延々としただけの時は笑ってしまいました。おそらく商品が無かったのでしょう。

試しにショッピング途中にバーコードを手で隠し Cart へ商品を入れてみたら、赤いライトが点滅しブザーが鳴り、今度は一度 Cart に入れた商品を棚に戻したらきちんと会計も差し引かれていました。

前回一般オープンの前に店中に入れず、その際にイケメンの店員お兄さんに頂いた\$5 オフのクーポンを持参してきました。

そのクーポンにあるバーコードをスキャンし、一般のレジに並ばずに Amazon Dash Cart Lane を通り抜けします。

クーポンは入店後すぐスキャンしても良いのですが、専用レーンを通り抜ける前にスキャンしておかないと値引きされません。





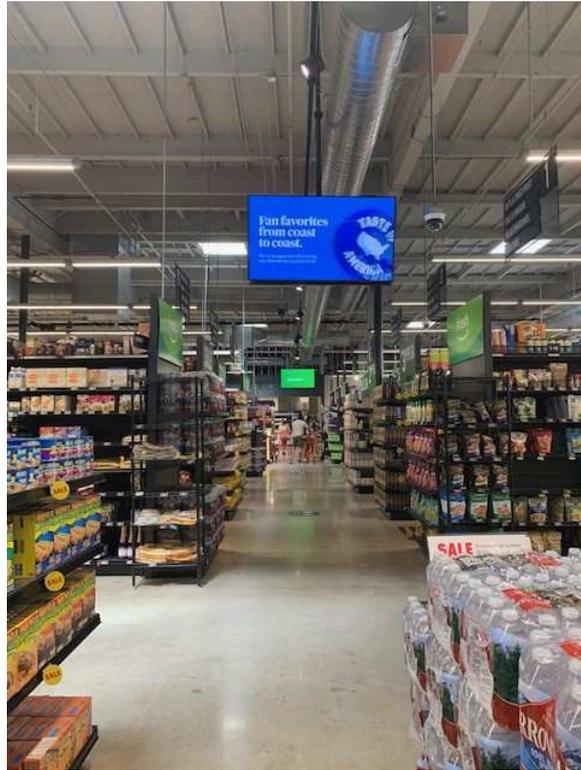
⑤ Dash Cart Lane を通り抜けるとアプリ内に入力されているクレジットカードで自動的に精算されレシートがメールで届きます。

初めて Amazon Fresh で Dash Cart を使用しながら興奮気味で楽しくショッピングをした帰り道にまた他のイケメンの店員お兄さんから今度は\$10 オフのクーポン(9/28-10/04 の期限付き\$35 以上の買い物必要)を頂きました。



店内の様子はこの様になっております。

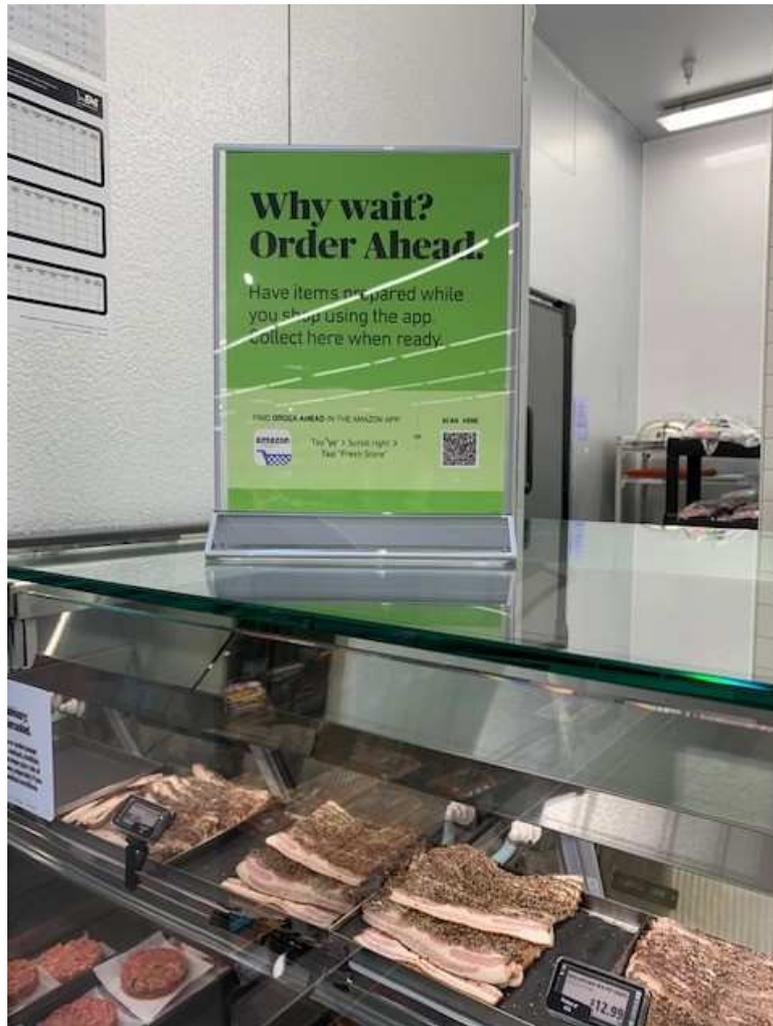




お店は我が家から車で1時間程かかり、やや少し遠いのですが Dash Cart をまた体験したいと感じました。

アプリで事前注文しておけば、サンドイッチやピザやキッシュなどのデリも待ち時間なしに受け取れるので次回は合わせて試してみたいと思います。





\$10 が節約できるという事は、私はハイブリッド車を利用しているのでガソリン代を払ってもお釣りが戻る ということです。

実はこのショッピング中に思わぬハプニングがあったのですが、それは次回号でお話ししますね。

私の旦那は小売業には全く興味がありませんが、ガジェット系は大好きなので Dash Cart のショッピングをかなり楽しめたらしく、

「もし近所に普通のスーパーとこの Amazon Fresh と並んでいたら、どっちに行く？」と尋ねたら「Amazon Fresh に行くかな、だってレジ通らなくて良いのは楽だし。」と言っておりました！

う～ん Amazon おそろべし！